

要請番号 (JL02618B11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
東ティモール	I102 障害児・者支援		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

社会連帯社会一体省

2) 配属機関名 (日本語)

ナショナルリハビリテーションセンター

3) 任地 (ディリ県ディリ) JICA事務所の所在地 (ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

2005年にNGOとして設立、2013年に国の組織となった。当国唯一のリハビリテーションセンターで10部門から成る。義肢装具と車いす等の提供、理学療法と作業療法によるリハビリテーション訓練が可能である。2010年にはCBR部門が導入され、障害者がコミュニティの中で暮らしやすい支援を目指している。2014年からは地方への訪問診療が始まり、全土の障害者へのリハビリテーション提供を目標としている。青年海外協力隊員(JV)派遣は2013年に始まり、これまで2代の義肢装具士(福祉用具)JV、2代の作業療法士が派遣され、現在理学療法士(2代目)が活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

独自のCBRガイドラインに基づきスタッフが配置されているが、実際には日々周辺の利用者送迎のほか、他課(理学療法、作業療法、義肢装具部門)と連携して地方訪問診療を行っているが、実際には効果的な活動はできていない。CBRスタッフのうち5名は大学のCBRコースを1年学んだが、能力と実行力に限界があり、JV派遣により、CBRの本格的な導入を図ることを期待している。より多くの障害者を適切に効率的に支援していくため、社会福祉制度等の経験・知識をもち、関係者/団体を巻き込みつつ活動を展開できる人材が求められている。

※CBRに関する知識・経験はなくても、障害者支援に関心があり、地域の関連団体や政府機関等とつなぐ役目やネットワーク構築を同僚と共に行うことで十分に活動ができる。わからないことは調べながら、アイデアと経験・知識を存分に生かして活動ができる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.CBRガイドラインの導入から定着を支援する中で、CBRチームの組織力強化と能力向上を支援する。(①教育②保健③社会参加④エンパワーメント⑤自立生活、の5項目に担当者が各1名配置されている。)
- 2.全体の助言役として、リーダーシップをもって、保健省やNGO等の関連団体とネットワークを構築する。
- 3.広報活動等あらゆる手段を使い、センターを東ティモールの住民に周知し、まだ恩恵を受けていない障害者を見つけ、支援する。
- 4.アウトリーチや家庭訪問を行う中で、コミュニティの村長や住民、家族、関係者とよく話し合い、それぞれのニーズを分析し、予算の範囲内で、地域ごとに必要とされる支援を考案し展開する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

- ・地域の利用者をセンターまで送迎するための車両
- ・当センターのCBRマトリックス(現地語のガイドライン)には各項目に活動内容と手法が記載されている

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・所長女性1名、副所長男性2名、全職員84名
- ・CBR部門7名:課長40代男性、スタッフ6名(男女20-40代、経験2-12年、身体障害者3名うち車椅子1名)
- ※首都以外は全員で対応、首都は地区毎に担当
- ・村長など地域のリーダー
- ・CBRファシリテーター(あまり機能していない)

5) 活動使用言語

テトウン語

6) 生活使用言語

テトウン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：村長や同僚に男性が多いため [経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・社会福祉系(障害者、他団体連携)経験3年

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（23～32℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】

CBRや福祉制度の基礎知識があると尚良い(自己学習可)。積極的なネットワーク作りができる人歓迎。